



廃棄物から水素!ゼロエミッションの構築

### 大阪を化石燃料に頼らない世界一クリーンな街へ!

2024年7月19日 H2Osakaビジョン推進会議

株式会社BIOTECHWORKS-H2 CEO & Founder 西川 明秀





# 大阪から水素エネルギーの構築を!

水素エネルギーの構築を大阪・関西からスタートし、

大阪を化石燃料に頼らない世界一クリーンな街へ。





# ごみZERO プロジェクト

私たちのミッション

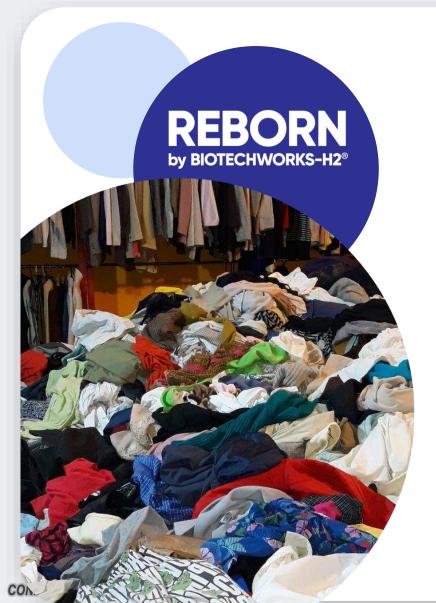
廃棄物から水素へ、

水素から再生可能エネルギーへ!









### Issue 問題提起

# リサイクルできてそうで、 できていない

リサイクル可能な素材 🗘







廃棄物

グリーンウォッシュを避け、回収後の透明性が必要







- マテリアルリサイクル モノからモノヘリサイクル
- サーマルリサイクル廃棄物から固形燃料(RPF)ヘリサイクル
- ケミカルリサイクル資源を化学的に分解しリサイクル



<b>載維業界比較</b>		BIOTECHWORKS-H2	A社	B社	C社
	リサイクル/ アップサイクル	ケミカル	マテリアル	。 人 ケミカル	リユース/サーマル
	対応可能なもの	ほぼすべて*	ポリエステル/綿のみ	ポリエステルのみ	状態の良いもの
	循環出口	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	繊維/製品	繊維	之 再流通/固形燃料
	CO2排出	削減	排出	排出	排出
'	トレーサビリティ	対応	非対応	非対応	対応

CONFIDENTIAL

※リサイクルに不向きな廃棄物がターゲット(すべてPOC実証済み,対応可能)



### 透明性の高いサーキュラーエコノミーの実現

BIOTECHWORKS-H2の技術とテクノロジーだからできる



#### しかもCo2排出しない

### REBONのサーキュラーエコノミーシステム



ケミカルリサイクル

再エネ変換

水素から電気や燃料電池など 利用しやすいエネルギーへ変換 グリーンウォッシュのない





### プラントの特徴

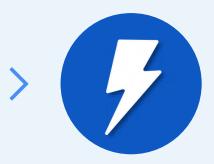














### リサイクル困難な廃棄物

- 付属品はそのままでOK
- ほぼすべての有機性廃棄物に対応

- ✓ガス化プラント
  - ケミカルリサイクル
  - ガス化技術



#### 再生可能エネルギー

水素を利用しやすい電気や燃料電池に変換

燃やさない=CO2を外に一切排出しない



### プラントの詳細

燃やさない(ガス化)

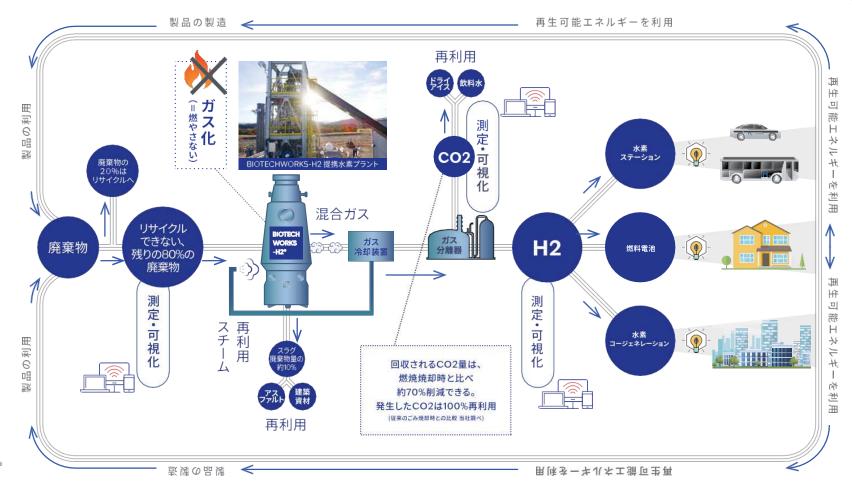
付属品ついたまま処理OK

ほぼ全ての有機性廃棄物に対応

CO2ほぼ100%回収できる

サイズ小さく低コスト

低温処理するためプラントサイズは小さくて済む。建設も低コスト。



### 「燃やさない」= CO2を外に一切排出しない!



### リサイクルが難しい廃棄物がターゲット

- ✓ 原料となる廃棄物の処理は最小限
- ✓ 含水率最大50%の処理が可能 ※平均含水率20%以下













#### Feedstock Examples









※すべてPoC実証済み



## 呈 REBORNのデジタルプラットフォーム



水素生成予測値及びCO2削減予測値レポート







# 大阪・関西万博

#### 正しく廃棄

不要な服を正しく廃棄して、環境貢献度をインタラク ティブに体感。

サステナブルのハードルを下げ、誰でも参加しや すいフィールドを提供します。



デモ動画

来場者の不要な服 ※持参いただく



# 2025年パイロットプラント建設に向けて

パイロットプラント建設を含む大阪でのPoC実証

咲洲テックラボプログラムに採択されました。

#### 採択から実証までの流れ

大阪でのPoC実証プログ ラムに採択

Step

<mark>6月</mark>からプロジェクト推進 のための会議がスタート

Step パイロットプラントの 建設開始

大阪での次の目標

PoC実証

✓ パイロットプラント建設

関西大阪万博出展

IR地区近くにコマーシャル プラント建設



CONFIDENTIAL





私たちはコマーシャルプラント建設を大阪で目指します。

## 大阪市の3つのメリット

### 1 CNエネルギー構築

大阪から水素CNエネルギーの 構築!エネルギー構築を大阪か らスタートし、大阪を化石燃料 に頼らない世界一クリーンな街 へ発信地点として!

### 2 大阪=夢のある街へと

大阪には万博、IR、関空など夢のある場所がたくさんあります。
IRから出たごみを再生可能エネルギーに変換しIRで再利用し、世界で最もクリーンで、夢のあるカーボンニュートラルなIB地区へ

#### 3世界の大阪へ!

1970年に開催された日本万国博覧会以前のような強い大阪、世界の大阪へ!日本の経済の中心、世界中からESG投資を受けることに人口確保、住民サービスの向上、そして少子化対策の予算確保など、強い大阪へ!



建設を大阪で目指します

ごみ処理場からプラントへ

大阪IR× リジェネレーション

大阪IRで出たごみを再生可能エネルギーに変換しIRで再利用

世界で最もクリーンで、夢のあるカーボンニュートラルなIR地区へ



### BIOTECHWORKS-H2の 技術× トレーサービリティの融合



2022年度大阪市 廃棄物 (一般/産廃)

廃棄物935

から生成される、

水素約9.6%

OO2 82.5万t削減

大阪市の002総排出量が

万t = 約1,400万t

約5.9%削減できる計算

ビジネスとして成り立つプラント建設

# 廃棄物が収入源になる!

すべて解決!

- ✓ 人口減少にともなる税収の減少
- ✓ エネルギー枯渇にともなる高騰



**→** 再生可能エネルギーを販売、利用して住民サービスの充実!







#### マレーシアケース

### 水素 vs 天然ガス

### 水素 <<< 環境負荷が小さい

- 1 5年 初期費用回収
- 2 9.1% 利回り \* 25年平均利回り
- **2** CO2排出ゼロ

### 利益率が高い >>> 水素→天然ガス



- 1 3年 初期費用回収
- 2 19.7% 利回り \* 25年平均利回り
- 3 CO2 排出
- 追加費用 \$108million +48million\*\*

廃棄物ゼロプロジェクト

### BIOTECH WORKS-H2

2030

- ▶ すべての有機廃棄物を再生可能エネルギーへ
- ▶ 売上100億円達成へ

ごみから水素へ

2026-2027

- ▶ 日本・マレーシアでプラント稼働予定(5箇所を目指す)
- ▶ 売上50億円達成へ

BIOTECH WORKS -H2®



2025

- ▶ 2025年日本国際博覧会 [大阪・関西万博] 出展を目指す
- ▶大阪でPoC実証を目指す

2024

- ▶ REBORN by BIOTECHWORKS-H2 スタート
- ▶ 廃棄アパレルをリサイクル品として回収(2024年8月)

2023

- ▶ 株式会社BIOTECHWORKS-H2設立(7月)
- ▶ BIOTECHWORKS-H2 Inc. US (7月)

#### Our team





#### CEO/ Founder 西川 明秀

大阪市出身。大学生時代の2000年に起業。 学生と会社経営者の2足の草鞋を履き、 SDGsという言葉がまだない2012年よりサステナブル活動に取り組む。OEM、生地開発など多岐にわたりアパレル業界を支え、ファッション業界が抱える環境問題対策や新たなビジネスモデルの構築など業界の常識を覆すアイデアを発信するトータルプロデューサーとして活躍中。



COO 仁谷 美喜







Chief Strategy Officer



Sustainability communication specialist



**Photo Designer** 



Creative fashion designer



Web director



Sustainability marketer and advisor

### **ABOUT US**

#### 株式会社BIOTECHWORKS-H2

CEO&Founder 西川 明秀

#### 東京本社

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前6-18-3 神宮前エスビル6F

#### **USA HEAD OFFICE**

3350 Scott Blvd. Suite 5502, Santa Clara, CA, USA 95054

#### 問い合わせ

info@biotechworks.co.jp







詳しくはWebへ







